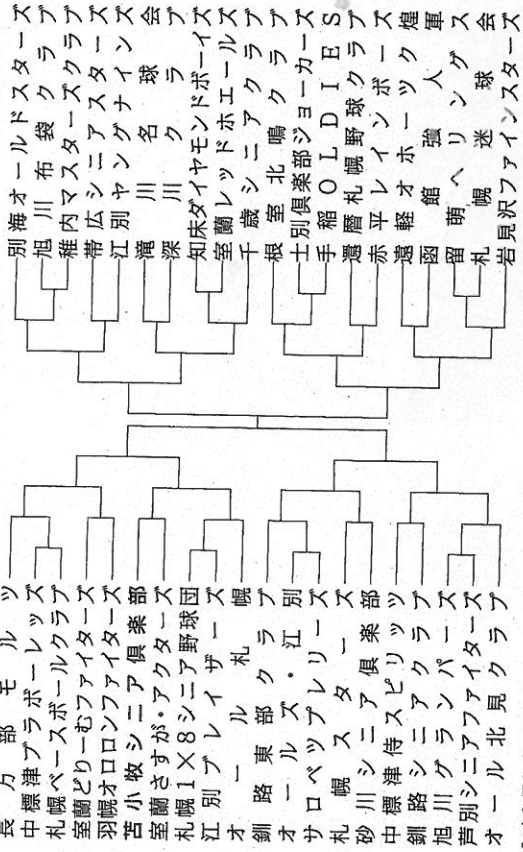


苫小牧シニアは室蘭さすが

40チーム熱戦組み合わせ決まる



道選暦軟式野球選手権

第20回北海道選暦軟式野球選手権大会(6月1～4日、上川管内鹿栖町など)ニトーナメント戦二の組み合わせが、このほど決まった。大会2連覇中の苫小牧唯一の選暦野球チーム、苫小牧シニア倶楽部は2回戦から登場。同じ道南アロックスに所属する室蘭さすがが、アクターズと顔を合わせる。

来年度開催の全日本選手権大会出場権を懸けた北海道選暦軟式野球連盟主催の大舞台。今年は札幌1×8シニア野球団、砂川シニア倶楽部の新規結成チームを加えた全道40チームが出場し、6月2日

からの競技3日間で熱戦を繰り広げる。

今大会では、前大会上位4チームのシード権が廃止さ

れ、アリー抽選によって組み合わせが決定した。苫小牧シニア倶楽部のゾーンには、道南アロックスチームが多く入るほ

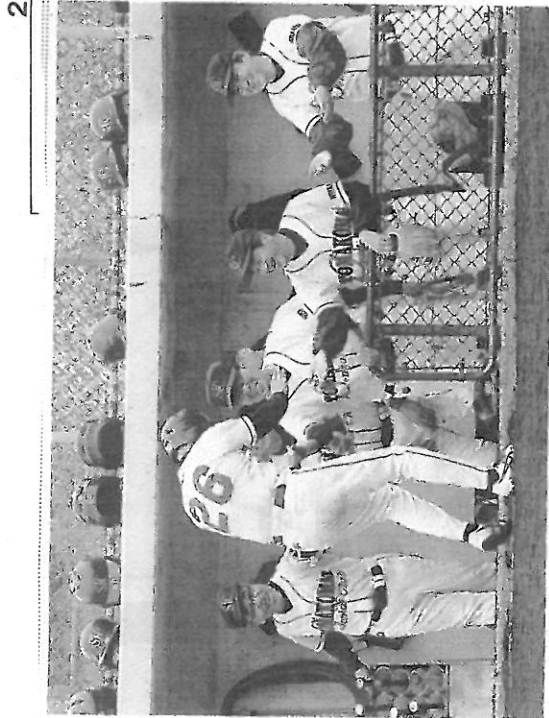
か、勝ち上がりは前回選優勝の札幌スターズをはじめ、難敵札幌勢も待ち構える。

また、決勝まで当たらない反対のゾーンには、昨秋の道選抜大会を制した旭川布袋クラブ、同位の深川クラブほか、札幌球会、選暦札幌野球クラブ、十別倶楽部

シヨーカーズ、岩見沢アイスタースなど強豪が入り、激しい上位争いが展開されそ

うだ。組み合わせの詳細は別表の通り。

※苫小牧加盟「神セライオンズ」メンバーでもある。左記の選手が出場します。「苫小牧シニア」の健闘を祈ります。



苫小牧シニア倶楽部が、3連覇に向け闘志を燃やしている。寒さの残る4月中旬、拠点とする市内美原町の清川公園で始動。また、今月6日には巨港町で選暦札幌野球クラブ、室蘭さすがが、アクターズと練習試合を行い、1勝1分けと大々の任士がりを果たした。

練習増で3連覇狙う

6日の練習試合で得点し、苫小牧シニア倶楽部ベンチ

すがは、最終に大重量を奪いしと誓っていた。

今季の新規加入者はわずか1人だが、植田雅人、瀬口正晃、澤田義文ら打撃陣はいまだ磐石。一方の投手陣は、荒川憲治がのた

長崎離脱を全無なくされてしまっている、平石谷源嗣を中心に力はある。

また、これまで仕事を待つ選手を考慮して土曜、日曜の休日に活動してきたが、今年から毎週水曜日も練習日に加えた。そのかいあって、「よく体が動いて

いる」と道選抜代表は志気を口にする。

大会3連覇達成は、第9回(2007年)から第12回(10年)まで4年連続優勝を果たした札幌スターズのみ。旭川布袋クラブ、室蘭さすが(2度)が過去に3連覇を目指しているが、いずれもかなえられていない。打倒